



株式会社ラクト・ジャパン

株価

2,052円

2023.8.31 終値

優待品換算金額

1,000円

通期

1株当たり配当金

48.0円

2023.11(予)

配当利回り

2.3%

2023.11(予)

割当基準日

11月末日

市場

東証プライム

NET-IR



株主優待

割当基準日11月末日

継続保有3年未満

1,000円分のQUOカード

(100株以上)

継続保有3年以上*

自社選定カタログからお好きな商品

(100株以上)

※100株以上を3年以上継続保有（11月末日および5月末日に100株以上保有し、株主名簿に同一株主番号で連続7回以上記載）の株主は、QUOカードに代えて自社選定カタログから3,000円相当の乳製品やハム・ウインナー詰合せなどを選択可

株主優待カタログの一例



三祐 ヨーロッパ チーズセット



町村農場 特製新鮮純良バターセット



長門牧場 牧場直送アイスクリームセット



夢一喜フーズ ハム・ウインナー詰合せ

DATA (2022年11月末日現在)

- 設立: 1998年5月
- 資本金: 1,158百万円
- 市場: 東証プライム
- 決算月: 11月
- 発行済株式数: 9,915千株
- 従業員数: 364人

お問い合わせ先

〒103-0027
東京都中央区日本橋2-11-2
株ラクト・ジャパン IR広報部
TEL.0570-055-369
<https://www.lacto-japan.com/>

乳製品原料輸入のリーディングカンパニー “複合型食品企業”への施策を推進

ラクト・ジャパンは乳原料・チーズなど乳製品原料の輸入を中心とした食品専門商社です。主要事業で培ったノウハウを生かし、豚肉および生ハムなど食肉加工品の輸入のほか、アジアにおいて乳製品原料の販売やチーズの製造販売を行うなど事業領域を広げました。

今後は、サプライソースの多様化による安定供給をベースに、アジア・チーズ製造販売事業を拡大し、メーカーとしての事業を強化します。また、機能性食品原料事業を軸とした新商材の取り扱いを拡充するなど、“乳製品専門商社”から“複合型食品企業”への施策を推進していきます。

中期経営計画「NEXT-LJ2025」

既存事業の「進化」をベースに、成長市場であるアジアでの事業拡大や、機能性食品原料販売をはじめとした新規事業の進展により、2025年11月期の業績目標の達成を目指します。

実績と目標	2022.11期 実績	2023.11期 予想	2024.11期 計画	2025.11期 計画
連結売上高	1,474億円	1,600億円	1,800億円	2,000億円
連結経常利益	31億円	32億円	36億円	40億円
親会社株主に帰属する当期純利益	22億円	23億円	26億円	29億円

8期連続増配を予定

株主還元を重点施策とし、今後も増配の継続、配当性向の向上を目指します。また、2023年11月期より経営成績に応じた利益還元を充実させるべく、中間配当を実施しています。

※2018年11月期以前の1株当たり配当金は、2019年5月1日の株式分割を考慮



ラクト・ジャパンのIR情報をチェック!



個人投資家の皆さまへ

投資家の皆さまへ



代表取締役社長
みうら もとひさ
三浦 元久

ラクト・ジャパンは今般、経営理念を新たにまとめ、コーポレートブランド「みらいを育む」を策定しました。この言葉には、当社の未来を育むということだけでなく、私たちが深く関わる酪農業の未来、アジア市場の未来、そして株主の皆さまや取引先などすべてのステークホルダーの皆さまの未来を共に育んでいきたいという想いを込めています。私たちは2023年11月期に迎えた創業25周年を「第二の創業期」のはじまりととらえ、未来へ向かって進化を続けていきます。

社名の由来

当社は乳製品原料の輸入を中心とした食品の専門商社です。ラテン語で「乳」を意味するラクト(Lacto)が、社名の由来です。

業績(連結)

決算期	2019.11	2020.11	2021.11	2022.11	2023.11(予)
売上高(百万円)	116,794	110,837	110,883	147,423	160,000
経常利益(百万円)	2,746	2,780	2,681	3,134	3,200
1株当たり利益(円)	200.1	209.4	198.7	231.6	235.0
1株当たり配当金(円)	22.0	30.0	32.0	40.0	48.0

(分) 2019年5月1日、1:2

※2022年11月期の期首より「収益認識に関する会計基準」等を採用
*2023年11月期の予想値は、2023年7月13日の公表値